

# 令和4年度とちぎ健康福祉協会事業計画

## I 事業運営方針

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて発生して2年が経過した。当協会においては、基本的な感染症対策の徹底のほか、積極的なワクチン接種や福祉施設職員に対する定期的なスクリーニング検査の実施など様々な対策を講じてきた。今後も引き続き気を緩めることなく新型コロナウイルス感染症対策に取り組む必要がある。

令和3年度は、桜ふれあいの郷で新施設でのサービス提供を始めたほか、新たな人事管理制度の運用を開始し、キャリアパス制度を導入して、給与制度を見直すなど、人材確保と職員の資質向上に取り組んだところである。人材の確保については、特に利用者支援職員の確保に苦慮しており、人材の育成とともに当協会の喫緊の課題となっている。また、長時間労働の防止や超過勤務の縮減、交代制の職場における欠員の補充、一部の職員の負担感の解消なども課題となっている。

これらを踏まえ、令和4年度においては、人材確保のための広報活動や、人材育成に係る職員研修の充実強化を図るとともに、引き続き適正な人事考課の実施、キャリア形成の支援など、新たな人事管理制度の充実に向けた取り組みを行っていく。また、業務の内容、実施方法、業務量及びこれに見合った人員配置に係る点検を行い、長時間労働の防止、超過勤務の縮減など、職員が働きやすい職場づくりを推進する。

さらに、平成30年度から令和4年度までの5か年の計画であるとちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）は、令和4年度で最終年度を迎える。本計画を締めくくるとともに、とちぎ健康福祉協会の目指すべき方向性とその取り組み方策を検討して新たな計画を策定し、将来にわたり持続可能な法人として、自主自立経営を確かなものとしていくこととする。

## II 重点事項

令和4年度は、次の事項について重点的に取り組む。

### 1 キャリアパス等級制度や人事考課制度など人事管理制度の充実・定着

考課者に対する研修の実施やＩＣＴを活用した考課結果の分析、キャリアパス制度に連携した研修の実施など、人事管理制度の充実・定着を図る。

### 2 人材の確保、育成、職員が働きやすい職場環境の整備

様々な方法での広報活動により人材の確保に努め、職員研修の充実強化を図ることにより人材の育成を図るとともに、長時間労働の防止に係る対策、新たな勤怠管理システムの導入の検討を行うほか、人員の適正配置に係る点検を行うなど、業務の効率化を図り、職員が働きやすい職場環境を整備する。

### 3 新型コロナウイルス感染症への対応

令和3年度には福祉施設職員に対してのみ実施した定期的なスクリーニング検査について、法人内全職員に範囲を広げるなど、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。

### 4 事業継続計画（ＢＣＰ）の策定

新型コロナウイルスなどの感染症や地震、水害等の自然災害時における事業の継続に係る計画を定め、危機管理対策を講じる。

### 5 次期指定管理の申請に向けての検討

令和5年度が最終年度となるとちぎ健康づくりセンター、とちぎ生きがいづくりセンターの指定管理業務について、次期申請に向けての検討を進めていく。

### 6 次期中長期計画（基本計画四期計画）の策定

三期計画を振り返り、課題を明らかにし、令和5年度から令和9年度までの今後5年間の法人の目指す方向性と、その実現に向けた第四期計画を策定する。

### III 事業運営

#### 1 総務福祉部

(所管事業)

事業所名	施設種別・事業名称等			利用定員	備考
わかくさ	母子生活支援施設			20世帯	
桜ふれあいの郷	桜ふれあいの郷児童施設	福祉型障害児入所施設		15人	
		障害者支援施設（併設）	施設入所支援	15人	
			生活介護	15人	
	桜ふれあいの郷生活支援施設		短期入所	1人	
	障害者支援施設	施設入所支援	130人		
		生活介護	135人		
		短期入所	3人		
		桜ふれあいの郷就労支援施設		日中一時支援	15人
	障害者支援施設	施設入所支援	40人		
		生活介護	40人		
		就労継続支援B型	40人		
	障がい者支援センターふれあい	短期入所		1人	
		共同生活援助			54人 8住居
		障害者就業・生活支援センター			雇用安定等事業(国) 生活支援等事業(県)
		職場適応援助者事業			高齢・障害・求職者雇用支援機構
		特定相談支援事業			障害者総合支援法(指定)
		一般相談支援事業			
清風園	清風園生活支援施設	障害者支援施設	障害者支援施設		
			施設入所支援	50人	
			生活介護	53人	
			短期入所	5人	
	清風園就労支援施設		日中一時支援	5人	
	障害者支援施設	施設入所支援	50人		
		生活介護	45人		
		就労継続支援B型	20人		
		短期入所	2人		
宝木保育園		日中一時支援		2人	
		保育所			160人

## (1) 総務課

協会本部としての総合的企画調整機能及び経営管理体制の充実強化に努めるとともに、各施設等と連携し、協会の自主自立経営の確立を図るために必要な事業を推進する。

事業運営に当たり、次の事項について、重点的に実施することとする。

- キャリアパス等級制度や人事考課制度の充実・定着
- 人材の確保、育成、職員が働きやすい職場環境の整備
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 事業継続計画（B C P）の策定
- 次期中長期計画（基本計画四期計画）の策定

(主な事業)

### ① 質の高いサービスの提供

ア 安全で快適な利用環境の確保

- 法人内全職員を対象とした、新型コロナウイルスに係る定期的なスクリーニング検査の実施

イ 人材の確保及び職員の資質向上

- 人材の確保に向けた取り組み

- ・就職活動者に向けた就職サイトやホームページ、新聞広告等の広報活動の強化
- ・職種別採用、競争試験、嘱託職員の登用など、多様な手法による職員採用
- ・採用機会の拡大による人材確保

- 人事管理制度にの適切な運用による職員の資質向上及びモチベーションの向上

- ・キャリアパス等級制度の定着
- ・新しい給与制度の適切な運用
- ・キャリアパスに応じた研修の実施
- ・評価制度の導入に伴う管理監督者に対する考課者研修の実施

- 新たな人事管理制度に基づく採用区分や雇用形態に係る制度の定着

- ・正規職員の職種別採用の充実・定着
- ・特定正職員制度等の適切な運用

ウ 情報公開の推進

- 事業計画、事業報告書等の備置・閲覧と公表
- ホームページの刷新に向けた検討
- 機関紙「かたらい」の発行

## ② 自主自立経営の確立

### ア 経営管理体制の強化

○次期中長期計画（基本計画四期計画）における中長期的な経営計画の策定

○月次報告作成時の経営分析の実施

### イ 健康経営の推進

○業務の内容、実施方法、業務量及びこれに見合った人員配置に係る点検を行うなどの業務の効率化による職員が働きやすい職場環境の整備

○勤務時間の適正な把握のため、新たな勤怠管理システムの導入検討

○職員提案制度等の活用

## (2) わかくさ

母子を共に入所させる施設の特性を生かし、親子関係の再構築と生活の安定が図られるよう、就労や日常生活及び児童養育に関する相談支援を行うとともに、退所後の相談やその他の援助を行うことで社会的自立を促進する。

また、子どもの貧困対策の推進に努め、関係機関と連携し、児童の生育環境等の整備に取り組む。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○新型コロナウイルス感染症等の感染症予防対策の徹底による入所母子の安全な利用環境の確保

○台風等の自然災害に備えるための防災用物品の整備による利用者の安全確保

(主な事業)

### ① 質の高いサービスの提供

#### ア 利用者本位のサービスの提供

○日常的な声かけや面談等の機会を捉え、母親の悩みごとに早期に気付くことによる利用者世帯の子に対する虐待の未然防止、早期発見

○心理相談事業の実施

○母親常会、子ども常会の開催

#### イ 安全で快適な利用環境の確保

○新型コロナウイルス感染症等の感染症予防対策の徹底による入所母子の安全な利用環境の確保

○防災対策に係る備品の整備による災害時における利用者の安全確保

○福祉事務所、学校、保育園との連絡会議の開催

○学習教室の開催による学力の向上

○利用者の働き方に対応した補完保育の実施

○夜間宿直の実施

○防災・防犯訓練の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

○キャリアパス制度に基づくOJTの活用

エ 情報公開の推進

○福祉サービス第三者評価受審結果の公表

② 自主自立経営の確立

ア 収入の確保と経費節減

○関係機関等へのパンフレット送付等による広報

○施設見学の積極的受入や来所困難者に対する現地に赴いての説明

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

○養育講座等ひとり親世帯を対象とした講座の実施

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

○緊急一時利用の受入

○一時保護受託事業の実施

ウ ボランティアの育成と連携

○子どもたちとの交流を目的としたボランティアの受入

○学習支援に係るボランティアの受入

(3) 桜ふれあいの郷

利用者の権利擁護に努め、自己選択と自己決定が図られるよう、その意思及び人格を尊重するとともに、利用者個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するため、質の高い障害福祉サービスを提供する。

また、利用者の心身の状態や地域生活への意欲等を勘案しながら、グループホーム等地域生活への移行を進め、「障がい者支援センターふれあい」を地域で生活する障害児者及びその家族に対する支援の拠点とし、総合的な福祉サービス事業を推進する。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

- 新施設の不都合、不具合箇所の点検・調整による、より良いサービス提供体制の確立
- 職員からの意見聴取等風通しの良い働きやすい環境づくりの構築
- 研修等による利用者の権利擁護・虐待防止の理念の醸成
- 新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底及び感染状況を踏まえた上での利用者サービスの実施
  - 「障がい者支援センターふれあい」の事業の方向性を踏まえた建替整備の検討  
(主な事業)
    - ① 質の高いサービスの提供
      - ア 利用者本位のサービスの提供
        - 新施設の不都合、不具合箇所の点検・調整による、より良いサービス提供体制の確立
        - 虐待防止委員会の専門部会（虐待防止推進部会）の開催
        - モニタリング等による利用者の意思確認、個別支援計画への反映
        - 苦情解決第三者委員の各委員からの意見聴取
        - 職員からの意見聴取等風通しの良い働きやすい環境づくりの構築
      - イ 安全で快適な利用環境の確保
        - 居室の個室化、ユニット化を踏まえた新たな支援体制の確立
        - 重度化、高齢化した利用者の増加に対応した医療ケア・支援技術取得のための研修受講
        - インシデント・アクシデント報告書の周知徹底・原因分析の実施
        - 新型コロナウイルス感染症対応に係る感染防護具や消毒液等の確保
        - 体温測定、手指消毒、対面支援時等の感染防護具着用等、基本的な感染予防対策の徹底
        - 陽性者発生を想定したゾーニング等のシミュレーションの実施
      - ウ 人材の確保及び職員の資質向上
        - 研修等による利用者の権利擁護・虐待防止の理念の醸成
        - 研修計画に基づくサービス管理責任者・相談支援専門員の養成
    - エ 情報公開の推進
      - 保護者等への支援状況の報告
      - ホームページの更新、積極的な情報発信
      - かじかさわ通信の発行
  - ② 自主自立経営の確立
    - ア 健康経営の推進
      - 業務管理システムを活用した業務の効率化

#### イ 収入の確保と経費節減

○新施設及び新支援体制による利用者の積極的な受入

○職員提案制度等の活用

#### ③ 地域社会への貢献

##### ア 福祉人材・支援技術の活用

○さくら市自立支援協議会による福祉の仕事説明会への参加

##### イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

○いちごハートねっと事業への参加（おこまり相談事業、物品の貸出、シトラスリボンプロジェクト in とちぎへの賛同）

○さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」に基づく対応の準備（継続）

○栃木県災害福祉支援チーム（D W A T）への登録

##### ウ ボランティアの育成と連携

○「桜ふれあいの郷まつり」や「センターふれあい交流会」による地域住民とのふれあいの実施

○「桜ふれあいの郷まつり」におけるボランティアの受入

#### (4) 清風園

利用者の権利を擁護し、自己選択や自己決定の意思を尊重しながら、自立と社会参加を支援することにより、利用者の自己実現を図るなど、質の高い障害福祉サービスを提供する。

また、関係機関と連携し、コロナ禍でも提供可能な周辺地域へのサービスを検討し、地域福祉への貢献に努めるとともに、障がい者支援センターふれあいと連携し、利用者の心身の状態や希望に応じた地域生活移行を推進し、地域生活が継続できるように支援を行う。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○介護用リフトや電動着衣ベッド等の活用をはじめとした「ノーリフティングケア」による利用者及び職員の身体的負担の軽減への継続した取り組み

○新型コロナウイルス感染防止のための衛生管理の徹底及びコロナ禍でも可能な活動を取り入れた、利用者の日常生活の充実に向けた支援

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○権利擁護委員会の開催

○職員倫理綱領及び職員行動規範の隨時見直し

○虐待防止委員会の開催

○利用者の意見を反映した個別支援計画書の作成

○新型コロナウイルス感染防止のための衛生管理の徹底及びコロナ禍でも可能な活動を取り入れた、利用者の日常生活の充実に向けた支援

イ 安全で快適な利用環境の確保

○「ノーリフティングケア」による利用者及び職員の身体的負担の軽減への継続した取り組みのための固定資産の取得（据置型移乗リフト、電動ベッド）

○利用者の高齢化、重度化、高次脳機能障害、発達障害に対応するための研修受講

○自己評価の実施

○リスクマネジメント委員会の開催

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

○職場内研修の充実

エ 情報公開の推進

○定期的なホームページの更新

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

○職員提案制度等の活用

イ 収入の確保と経費節減

○関係機関との連携による利用定員の確保

○専門職を中心とした健康管理の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

○体験実習の受入

○さくら市自立支援協議会による福祉の仕事説明会への参加

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

○いちごハートねっと事業への参加（おこまり相談事業、施設機能の貸出、シトラスリボ

ンプロジェクト in とちぎへの賛同)

○さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」に基づく対応の準備（継続）

○栃木県災害福祉支援チーム（D W A T）への登録

ウ ボランティアの育成と連携

○さくら市ユースボランティアの受入

## (5) 宝木保育園

宝木保育園の基本方針と保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考え、心身の健やかな成長を支援するための多様な保育サービスを提供していくほか、地域の子育て支援拠点として、相談窓口の設置、交流保育及びボランティア等の受入を継続して実施し、地域に開かれた保育所を目指す。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○新型コロナウィルス感染症等の感染防止対策の徹底による安全な保育環境の確保

○園児の登降園の管理や延長保育利用料集計等の業務の効率化を図るためのシステム導入に向けた準備

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底

○自己評価の実施

○危機管理・安全対策検討班の設置

○アンケートの実施（年3回）及び意見箱の設置

イ 安全で快適な利用環境の確保

○新型コロナウィルス感染症等の感染防止対策の徹底による安全な保育環境の確保

○台風等の自然災害に備えるための防災用物品の整備による利用者の安全確保

○延長保育の実施

○リトミック、体操、英語、サッカーの各種教室の実施

○異年齢児間・世代間交流事業の実施

○一斉メールによる連絡、情報発信

○ヒヤリハット・アクシデントの検証による保育事故の防止

○防災・防犯訓練の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

○園内外研修の実施

エ 情報公開の推進

○保護者の体験保育の実施

○園だより、保健だより、食育だよりの発行

○ホームページを活用した保育活動の紹介

② 自主自立経営の確立

ア 収入の確保と経費節減

○待機児童解消に向けた受入

○一時保育及び休日保育の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

○男性保育士によるイクメン推進講座の実施

○職場体験学習の受入

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

○地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

○保育士有資格者再就職に向けた実習の受入

○栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録

○赤ちゃんの駅、子ども110番、イベント用機材の貸出し等の実施

ウ 行事等へのボランティアの受入

○地域、学生ボランティアの受入

○シルバーボランティアの受入

## 2 生きがい健康部

(所管事業)

事業所名	事業名称				備考	
健康づくり課	指定管理事業 とちぎ健康の森 県南支所 県北支所	とちぎ健康づくりセンター				
生きがいづくり課		とちぎ生きがいづくりセンター	シルバー 大学校	中央校 南校 北校	640人 (160人×2コース×2学年) 240人 (120人×1コース×2学年) 240人 (120人×1コース×2学年)	
		ねんりんピックとちぎ開催事業 全国健康福祉祭（ねんりんピック）派遣事業	はつらつ とちぎ 21推進 事業（委託事業）		スポーツ・文化交流大会、作品展 スポーツ・ふれあいスポーツ・文化交流大会、美術展	
		介護支援専門員実務研修受講試験事業 介護支援専門員研修事業 賛助会員入会促進事業	自主事業		指定実施機関 法定研修、指導者養成研修、指導者会議 法人会員	
生きがい就労課		情報誌発行事業	補助事業	年間4回発行		
シルバー人材センター事業に対する支援 高齢者活躍人材確保育成事業						

### (1) 生きがいづくり課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「とちぎはつらつプラン21（八期計画）」や「とちぎ健康21プラン（2期計画）」に沿った生きがいづくり事業を実施する。

また、とちぎ生きがいづくりセンター県南支所・県北支所の施設管理について、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努める。

シルバー大学校の運営においては、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じながら感染状況に応じた対応を図るなど、各事業の実施に当たっては、感染防止対策を徹底し、県等の対応方針に基づき迅速に対応した事業運営に努める。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

○シルバー大学校の運営

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に即応した学校運営

(オンライン授業や複数教室でのライブ形式による少人数制授業の実施等)

・講堂特定天井落下防止対策工事に伴う代替教室等の準備及びカリキュラム調整

(工期：R 3.1 1月～R 4. 7月)

・地域活動の実践に繋がる学習カリキュラムの充実

(地域活動実習、地域活動団体等とのマッチング実施、同窓会支部等の活動事例紹介等)

・授業料等コンビニ・スマホ収納サービスの実施

・次期指定管理の申請に向けての検討

○ねんりんピックとちぎ2022の開催

開催期間：4月17日（日）～6月5日（日）

内 容：スポーツ・文化交流大会（19種目）、シルバー作品展（6部門）

○第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会への選手団派遣

会 期：11月12日（土）～11月15日（火）

派遣内容：スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会（23種目）

美術展（12点出展）

派遣人員：選手・役員 計177名（見込）

○介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験日：10月9日（日） 受験者数：700人（見込）

○介護支援専門員の各種法定研修の実施

・オンライン研修と従来の集合研修の同時開催等、受講生が受講形式を選択するハイブリッド形式による研修の円滑な実施

② 自主自立経営の確立

○シルバー大学校入学者数や介護支援専門員研修受講者数等の確保

○業務運営の効率化及び経費削減

③ 地域社会への貢献

○シルバー大学校卒業生やねんりんピック派遣選手を活用した地域住民向け講座の実施

○とちぎ健康の森フェス2022等へのボランティアの受入

## (2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行う。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施する。

また、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理に努める。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として取られた一定期間の休館や新型コロナウイルスワクチン接種会場設置に伴う事業停止による利用者減少の回復に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数については、感染症対策を徹底することによりその回復に努め、「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努める。

### （主な事業）

#### ① 質の高いサービスの提供

○利用者ニーズに応じた施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施

○地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施

・企業・団体等と連携した出張講座の実施

・市町向け研修会の実施

・県南・県北支所を活用した講座等の実施

○利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制による支援

○健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発

○調査研究及びノウハウを生かした新たな講座等の実施

○定期設備点検及び保安警備、敷地内緑地管理等、とちぎ健康の森の施設・設備等の適正な維持管理の実施

・施設の大規模工事（県予算）に伴う県・関係機関との連絡調整及び対応

　　講堂特定天井落下防止対策事業（工期：R3.11月～R4.7月）

○災害・事故等の危機管理対策の徹底

○利用者に対する公正・公平なサービスの提供

○サービス向上委員会等の開催

○利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営

・プリペイドカード特典の充実

- ・企業等への利用チケット制の実施
- ・コンビニ・スマホ収納サービスの充実
- ・オリジナルグッズの有償頒布

○次期指定管理の申請に向けての検討

## ② 自主自立経営の確立

- アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の展開による利用者の確保
- 運動メニューの作成や集団指導等、継続利用に向けた取組みの実施
- 電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源・省エネルギーへの取組

## ③ 地域社会への貢献

- 電話や来訪による随時健康相談の実施
- 県民への一部施設の無料開放（県民の日・家庭の日）
- 災害時に応じた自衛消防組織及び県や関係機関との連絡・協力体制の整備
- 施設が有する災害時対応機能の地域住民への周知
- 各施設・事業の連携によるとちぎ健康の森フェス2022の開催
- 主催イベント（とちぎ健康の森フェス2022）への運営ボランティア等の受入や小学校・自治会等地域住民への参加呼びかけ

## (3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するための普及啓発、研修、相談・指導等を実施する。

なお、具体的な事業は、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が運営する。

### ア シルバー人材センター事業に対する支援

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援する。

### イ 高齢者活躍人材確保育成事業

地域の高齢者や企業に対する積極的な周知・広報、就業体験を通した高齢者、企業双方のシルバー人材センターに対する理解促進、及び必要な技能講習の実施により、新規会員及び活用企業の増加を図る。

## IV 利用実績及び計画

### 1 総務福祉部

(単位：人)

わかくさ	令和2年度実績			令和3年度見込			令和4年度計画		
	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率
世帯数（世帯）	240	20.0	100.0%	226	18.8	94.2%	194	16.1	80.8%
家族人員	647	53.9	—	594	49.4	—	534	44.4	—
母親	240	20.0	—	226	18.8	—	194	16.1	—
児童	407	33.9	—	368	30.6	—	340	28.3	—

桜ふれあいの郷	令和2年度実績			令和3年度見込			令和4年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
児童	措置児童	3,254	8.9	81.0%	4,307	11.8	98.3%	4,380	12.0	92.3%
契約児童	1,460	4.0	100.0%	906	2.4	82.7%	726	1.9	99.5%	
施設入所	5,442	14.9	99.4%	5,132	14.0	93.7%	5,305	14.5	96.9%	
生活介護	3,910	14.8	99.1%	3,666	14.0	93.6%	3,786	14.5	96.7%	
生活	施設入所	44,042	120.6	92.8%	44,470	121.8	93.7%	45,267	124.0	95.4%
生活介護	31,717	120.5	89.3%	31,564	120.9	89.6%	33,403	127.9	94.8%	
就労	施設入所	14,066	38.5	96.3%	14,281	39.1	97.8%	14,074	38.5	96.4%
生活介護	5,652	21.4	86.0%	8,184	31.3	78.4%	9,511	36.4	91.1%	
就労継続B	12,169	46.2	84.1%	9,297	35.6	89.1%	9,751	37.3	93.4%	
共同生活援助		18,835	51.6	95.6%	18,581	50.9	94.3%	18,922	51.8	96.0%

桜ふれあいの郷	令和2年度実績			令和3年度見込			令和4年度計画			
	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	
短期入所	児童	0	0	0.0%	60	2	16.4%	4	1	1.1%
生活	101	3	6.9%	80	4	7.3%	120	4	11.0%	
就労	176	4	24.1%	9	1	2.5%	4	1	1.1%	
日中一時		1,802	18	45.7%	1,582	17	40.4%	1,390	12	35.5%

清風園	令和2年度実績			令和3年度見込			令和4年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
生活	施設入所	17,279	47.3	94.7%	17,520	48.0	96.0%	17,338	47.5	95.0%
生活介護	13,575	43.3	81.8%	13,438	43.0	81.3%	13,602	43.4	82.0%	
就労	施設入所	16,108	44.1	88.3%	14,600	40.0	80.0%	15,695	43.0	86.0%
生活介護	10,433	39.5	88.8%	9,161	35.0	78.0%	10,100	38.6	86.0%	
就労継続B	5,208	19.7	99.8%	5,220	20.0	100.0%	5,220	20.0	100.0%	

清風園		令和2年度実績			令和3年度見込			令和4年度計画		
		年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率
短期入所	生活就労	309	7	16.9%	182	7	10.0%	292	3	16.0%
		157	4	21.5%	44	2	6.0%	117	3	16.0%
日中一時	生活就労	176	3	9.6%	164	3	9.0%	182	3	10.0%
		37	1	5.1%	4	2	0.5%	6	1	0.8%

宝木保育園		令和2年度実績			令和3年度見込			令和4年度計画		
		年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率
乳児	0歳児	190	15.8	—	186	15.5	—	189	15.7	—
	1歳児	354	29.5	—	360	30.0	—	360	30.0	—
	2歳児	360	30.0	—	359	29.9	—	360	30.0	—
幼児	3歳児	360	30.0	—	360	30.0	—	360	30.0	—
	4歳児	372	31.0	—	360	30.0	—	372	31.0	—
	5歳児	384	32.0	—	372	31.0	—	360	30.0	—
合計		2,020	168.3	105.2%	1,997	166.4	104.0%	2,001	166.7	104.2%

## 2 生きがい健康部

			令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度計画
<b>とちぎ健康づくりセンター</b>					
施設利用講習年間利用者数（人）			437	1,053	3,000
プール・トレーニング室年間利用者数（人）			19,385	26,461	65,131
会議室等年間利用時間（時間）			4,208	8,444	8,510
<b>とちぎ生きがいづくりセンター</b>					
講堂等年間利用時間（時間）			5,049	—	—
県南支所 教室等年間利用時間（時間）			551	—	—
県北支所 教室等年間利用時間（時間）			255	—	—
シルバー大学校学生数（中央校、人）			493	436	602
シルバー大学校学生数（南校、人）			214	207	243
シルバー大学校学生数（北校、人）			181	143	209
<b>高齢者生きがいづくり支援事業</b>					
ねんりんピックとちぎ参加人数（人）		中止	1,568	3,000	
全国健康福祉祭派遣実績（派遣場所、人数）		岐阜県・延期	岐阜県・中止	神奈川県169	
介護支援専門員実務研修受講試験申込者数（人）		688	785	700	
介護支援専門員研修事業延受講者数（人）		1,046	1,056	1,100	